



ピース! Peace

Team Shiroyama

Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう!

HP <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

令和 7 年 3 月 3 日

学校だより第 14 号

校長 宮田 幸治

6 年生の卒業に向けて…

あっという間に 3 学期が終わりに向かっていきます。6 年生は、卒業式まであと 15 日、出席日数は 11 日となりました。在校生との楽しいひと時を過ごしてほしいと願い、異学年での縦割り遊びにも取り組みました。在校生が憧れる 6 年生です。みんなの思いを受け止めて、卒業までの 1 日 1 日を大切に過ごしてほしいと思います。

本校では、「Peace (ピース) 飛び交う、楽しい学校をつくろう」という合言葉や、「みんなが気持ちよく、安心できる言葉づかいで、気づき、考え、行動する」という学校の約束を掲げ、日々の学校教育活動に取り組んでいます。先生方とは、「いいね行動をしたときにすぐに褒める、ほんの少しでもできたら褒める」ことを基本とすることを共通理解しています。今さらながら言葉の持つ力、特に温かい言葉は、人に影響を与えることを改めて知ることができたので、そのお話をご紹介します。

スウェーデンの研究によると、温かい言葉は相手に温かさやエネルギーを与えるだけでなく、実際に体温をわずかに上昇させる効果があるそうです。「今日、あなたのことを考えていました」といったシンプルな言葉でも、人々の孤独感を和らげ、気分を高め、その効果は最長で 1 週間も持続したという研究結果もあります。さらに、これらの言葉を読んだ人は、部屋が暖かく感じたと話したそうです。これは、言葉が文字通りに人々を温めた可能性を示しています。体温が適度に上がると、脳が活性化する、記憶の定着にもつながる、よい睡眠につながるなどの効果もあるそうです。6 年生とは残り少ない日々となりますが、卒業証書授与式に向けてがんばる姿や他学年との交流等での高学年らしい姿に対して、一層温かい言葉をかけていきたいと思います。

ご家庭でも、お子様に対して温かい言葉を積極的にかけてあげてください。「がんばっているね」「いつも応援しているよ」といった言葉が、お子様の心を温め、成長を大きく後押しすることと思います。



【温かい言葉の例】

「今日、あなたのことを考えていました」・「あなたに会いたい」・「親切にしてくれてありがとう」・「ヘアスタイル、素敵だね」などなど…

他にもちょっとした相手への肯定的な気づきを伝えるとよいそうです。

私たちは毎日、誰かに対して温かい気持ちを抱いています。その気持ちを言葉にして伝えることで、周りの人々を温め、より良い人間関係を築くことができるのではないのでしょうか。学校でも、言葉の持つ力を意識し、子供たちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりに努めてまいります。